

第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会のご紹介

2024年11月1日（金）～3日（日）の3日間、岡山コンベンションセンターを中心に開催される第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会について、会長である川崎医科大学リハビリテーション医学教室の花山耕三教授にお話をうかがいました。

開催概要

第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会

テーマ：リハビリテーション医学の広がり

会期：2024年11月1日（金）～3日（日）

会場：岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）、

岡山県医師会館、岡山国際交流センター、岡山シティミュージアム

「リハビリテーション医学の広がり」というテーマに込めた思いについて、お聞かせください。

私の恩師の千野直一先生が、「勉強会で発表するときは必ずそのテーマの歴史を入れなさい」「研究テーマは繰り返される。あるときに行き詰まったテーマでも技術の進歩によって時を経て脚光を浴びる」ということを繰り返しおっしゃっていました。また、私自身ががかかわっている麻痺性疾患の呼吸障害については、非侵襲的人工換気が現在のよう鼻マスクで始まったのが30年ほど前の新しい分野ですが、その後も機械の進歩のみならず、障害者をサポートする技術の進歩によってQOLの向上に寄与しています。神経疾患や運動器疾患の分野はさまざまな面で進歩していますが、その中でも中枢神経の機能回復についてはさまざまなチャレンジがなされています。ほかにも、がんや内部障害の分野においてはリハビリテーション医療の対象となる患者も増え、リハビリテーション医学はその守備範囲を広げています。

古くから運動の効用、障害者の社会復帰など、現在につながる考え方の萌芽はあったわけですが、全体を通してみるとやはり物理医学（physical medicine）とリハビリテーション（rehabilitation）

の統合が一大イベントであったと思います。そしてその後、リハビリテーション医学は多くの分野で発展を遂げています。超高齢社会を迎えているわが国では、複数の疾患、複数の障害をもって社会で生活する高齢者、障害者が増加しており、さらに増え続けると予想されます。われわれリハビリテーション医学・医療に携わる者にとっては、この状況に対処するだけの知識、技術を備える必要があると感じています。本学術集会では、各分野の過去からの歴史、発展の経緯、そしてその展望について参加者の皆さんに話を聴いていただき、今後の診療、教育、研究に役立てていただきたいと思いました。

特別講演や注目すべき講演、プログラムがあれば教えてください。

特別講演として、未来医療研究機構代表理事の長谷川敏彦先生に「21世紀の超少子・超高齢デジタル社会におけるケアの基盤—ケアサイクルを支えるリハビリテーション医療」と題する講演をお願いしています。長谷川先生は、厚生労働省の課長補佐として政策にかかわり、国立医療・病院管理研究所や統合改組された国立保健医療科学院にて医療政策を研究されてきた経歴をお持ちで、現在



会長の花山耕三先生



秋季学術集会ポスター

は未来医療研究機構をはじめいくつかの研究機関を設立、参画されています。先生は、医療やケアを取り巻く社会情勢について深い洞察に基づく理論を打ち立てておられます。ケアサイクル論はその1つですが、社会の変化、個人の価値観の変化により、求められる医療が変化していること、そしてリハビリテーション医学に望んでいることをお話しいただけるものと期待しています。

第8回秋季学術集会「ならでは」のプログラム、企画についてご紹介ください。

テーマの「リハビリテーション医学の広がり」に沿って、リハビリテーション医学の各分野についてその歴史と展望を、当該分野を牽引している、あるいは長年牽引してきた先生方にお話しいただきます。これは第1会場で15講演を予定しています。また、「基本診療レクチャーマラソン」では各分野の基本診療について、1つの会場で30分の2講演を1セッションとして、全部で16セッションを予定しています。いずれも1つの会場にいれば、リハビリテーション医学の各分野の内容を聴くことができるようになっていきます。そのほか、各分野の教育講演28題や国際誌編集委員会、試験委員会・認定委員会のプログラムがあります。また、シンポジウム、他学協会・研究会との合同シンポジウムを企画しています。

開催地である岡山の楽しみ方、味覚、散策地など、花山先生ご推薦を教えてください。

岡山・倉敷は観光地であり、岡山城、後樂園、倉敷美観地区は定番です。交通の便もよいです。少し遠いですが、私は備前市の旧閑谷学校の落ち着いた雰囲気が好きです。また、陶器がお好きであればJR伊部駅^{いんべ}の周辺に備前焼の展示即売所や店が集まっています。

岡山は果物が有名ですが、会期の頃はぶどうの旬がほぼ終わり、梨などの季節でしょうか。果物以外にも瀬戸内海の魚をはじめ、おいしいものがたくさんあります。ホルモンうどんやかき氷などいわゆるB級グルメもあります。岡山にはおいしい店がたくさんありますので、是非楽しんでいただければと思います。

岡山は各地からの交通の便もよく、会場は岡山駅直結です。岡山空港もそれほど遠くありません。会期は連休中であり、学術集会の翌日は休日です。岡山にお越しいただき、ゆっくり過ごしていただければと思います。

学術集会初日に行われる全員懇親会では、岡山の味覚をご用意いたしますので、是非ご参加いただき、会員、非会員を問わず交流を深めていただきたいと思います。岡山でお待ちしております。

(文責 広報委員会)